

(販売終了)

殺虫剤

登録番号 第21303号

カウンター乳剤

(ノバルロン乳剤)



●有効成分 ノバルロン 8.5%

●性 状 黄色澄明可乳化油状液体

●毒 性 普通物

●有効年限 4 年

●危険物表示 第4類第三石油類

●包 装 250mℓ×20本／ケース 500mℓ×20本／ケース

●化 管 法 ノバルロン(2種) 8.5%

ジメチル(1-フェニルエチル) ベンゼン(1種) 13～18%「16%」(中央値)

N-メチル-2-ピロリドン(1種) 51%

【特 長】

1. コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガなどのチョウ目害虫、難防除害虫のハモグリバエ類、コナジラミ類およびアザミウマ類に対して高い殺虫効果を示します。
2. コナジラミ類(タバココナジラミ、オンシツコナジラミ)の卵、幼虫、前蛹に対する優れた効果で、長期間にわたって密度抑制します。
3. 人畜、魚類に対する安全性が高く、土壌残留の心配がありません。また、後作物に対する影響は認められていません。
4. 天敵、有用昆虫に対して影響が少ないので、IPM(総合的病害虫管理)にも活用できます。

【適用害虫と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (10a当り)	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	ノバルロン を含む農薬の 総 使 用 回 数
キ ャ ベ ツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	2000～3000	100～300 ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ブ ロ ッ コ リ ー	ハイマダラノメイガ	2000			2回以内		3回以内
カ リ フ ラ ウ ー	ハスモンヨトウ						
レ タ ス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	3000		収穫3日前 まで	3回以内		3回以内
非 結 球 レ タ ス				収穫14日 前まで			
し そ (花 穂)	ハスモンヨトウ	2000		収穫前日 まで	2回以内		2回以内

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (10a当り)	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	ノバルロン を含む農薬の 総 使 用 回 数
なす	コナジラミ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	2000～3000	100～300 ℓ	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
	アザミウマ類	2000		1番花の 開花まで			
トマト ミニトマト	コナジラミ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2000～3000 2000			収穫前日 まで		2回以内
	ピーマン	オオタバコガ		3000			
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2000		収穫3日前 まで			
アスパラガス	オオタバコガ ハスモンヨトウ			収穫7日前 まで			
にんにく	ネギコガ			収穫14日 前まで	5回以内	5回以内	
てんさい	ヨトウムシ	2000～3000 750	25 ℓ				
	カメノコハムシ アシグロハモグリバエ シロオビノメイガ	3000	100～300 ℓ	発生初期	5回以内	5回以内	
ふき	ハスモンヨトウ	2000		発生初期	5回以内	5回以内	
きく	アザミウマ類 オオタバコガ						
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)	アザミウマ類						

【使用上の注意】

1. 所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
2. 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
3. 植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にも十分かかるように散布してください。
4. 幼虫の脱皮を阻害して死亡させる性質を持つ薬剤ですので、幼虫期になるべく早く散布してください。
5. 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し付近の桑に付着するおそれのある地域では使用しないでください。
6. 抵抗性の発達を防ぐため、作用性の異なる他剤との体系散布を行ってください。
7. トマトの果実には薬害の生じるおそれがあるので、開花の始まったほ場又は施設等では散布しないでください。
8. ピーマンに使用する場合、他の農薬と混用又は展着剤等を加用すると、薬害を生じるおそれがあるので、混用はさけてください。
9. しそに使用する場合、気門封鎖型殺虫剤との混用は薬害を生じるおそれがあるので注意してください。

10. てんさいに対して希釈倍数 750 倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
11. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
12. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
13. 眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
14. 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としとしてください。
15. 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
16. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
17. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
18. 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
19. 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
20. 危険物第4類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

【貯蔵上の注意】

火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。